



しろやま

令和8年1月16日

第11号

校長 黒原 裕一



3学期は0学期 まとめと準備を (2025→2026)

新年あけましておめでとうございます。1月8日(木)3学期が始まりました。年末年始、大きな事故等がなく、各家庭や地域、こんぺいとうクラブにおいて安全に過ごすとともに、年末年始の行事を家族の皆さんで行い、新年の気持ちを新たにし、登校できたようです。保護者の皆様には、3学期も引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

始業式に際し、次のような講話を行いました。主旨は、『3学期は学年のまとめを行う学期でもあると同時に、新しい年度、つぎの学年に向けた目標や見通しをもつ準備をしかりすることも大切である』ということです。ご家庭と共有いたします。(下段に掲載／一部略)

直前にクマ(長谷堂地内の農地)の目撃情報もあり、ご家庭の協力も得て、安全対策を行いながらのスタートでした。今後も、クマへの対応及びインフルエンザ等の感染症対策について、ご協力をお願いいたします。



『3学期は0学期』

始業式 校長講話より

みなさん、3学期はどんな学期だと思いますか。3学期は、一年間のまとめをする学期です。でも、それだけではありません。実は、次の学年に向けてスタートの準備をする、とても大事な学期でもあります。ここで、みなさんがよく知っている「ロケットの発射」を思い浮かべてみてください。ロケットは、いきなり「発射!」とは飛び立ちません。発射の前には、必ずこう言います。「0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10」このカウントダウンの間に、ロケットはたくさん準備をしています。

・ちゃんと動くかどうかの点検 ・燃料が足りているかの確認
・どの方向に飛ぶのかのチェック

この準備がしっかりできていないと、ロケットはうまく飛び立つことができません。みなさんの3学期も、これと同じです。3学期は「次の学年へ飛び立つためのカウントダウン」つまり四月から始まる1学期の前にある「0学期」とも言えます。一年間でできるようになったことをふり返る。苦手なところをもう一度見直す。友だちとの関わり方や、学級のきまりを整える。新しい学年でがんばりたいことを考える。こうした一つ一つが、ロケットのカウントダウンのような「準備」になります。そして、四月になって新しい学年が始まる時、みなさんは力強くスタートします。そのための大切な時間が、今の3学期10学期です。だからこそ、3学期の毎日をしていねいに過ごしてほしいと思います。しっかり準備をしていきましょう。

『午年にちなんで』

今年は「午(うま)年」です。昔から馬は、力強く、まっすぐに、そして仲間とともに走る動物として親しまれてきました。午年にちなんで次の四つの話をしました。

- ① 一步を踏み出す勇氣…小さな一步を大切にしよう
- ② 仲間と走る力…みんなと力を合わせると強くなれる
- ③ 自分のペースで進むこと…自分のペースで確かに前に進もう
- ④ 寄り道や失敗も大切な学び…それはうまくいくための準備です

3学期は0学期、みなさんが自分らしく、一步を踏み出し、仲間とともに、元気に走り出せる一年になることを願っています。





児童代表あいさつ

「二学期がんばったこと」「三学期の目標」



二学期がんばったこと

二年 よこお みのり

ぼくががんばったところは三つあります。

一つ目は、「思いやり」です。一年生にやさしくできました。うんどう会では、白組リーダーになって、一年生のならびじゅんを考えてまとめていました。チェツコリ玉入で、一年生があるけるはやさにちようせいました。ぜんこうしゅもくで一年生のおうえんもできました。一年生が一ばん目にはしるので、さをつけてもらいたかったからです。

二つ目は、「まねしてかしく」についてです。ぼくは、学しゅうはっぴよう会をがんばりました。電車で行った「もつくる」のぼうけん広場が楽しかったので、学校でもやりたいと思いました。だから「もつくる」のまねをして、いろいろなうんどうをみんなで作えました。そくてんで、みなみちゃんのまねをして足を高く上げてまわったらじょうずにできました。「むくどりのゆめ」の絵のはっぴようができて、学校の人々にもはま田ひろすけさんのことをつたえられたなあと思いました。

三つ目は「力を合わせて」についてです。ぼくたちは力を合わせてポップコーン作りをがんばりました。三人でなべをよういし、先生からざいりようをいれてもらいました。おもいなべだったけどがんばりました。パチパチいつてきたら、じゅんばんでまわしました。ぐん手をつけてもあつかったけどがんばりました。一ばんあつかったのは、たねがあぶらについてすごいパチパチいつてるところです。ゆげがでているところがびつくりしました。一回目はこげがあつたけど、二回目はこげがゼロでうれしかったです。キャラメルあじもあまくておいしかったです。

三学期では、ともだちのなかをふかめて、きよう力するひまわり学年になりたいです。けんかしても、かなおりするけんかのない二年生になりたいです。

☆みのりさんは、がんばったことについて、教育目標とくらべながら整理(せいり)して発表しています。目標とくらべて、自分のがんばりを確かめることは自己評価(じこひようか)といって大切な力です。

【校長より】

三学期の目標

六年 志田 結彩

今日から三学期のスタートです。私たちに残された卒業式当日までの登校日数は、今日を入れて四十七日です。小学校生活最後の三学期を過ごすにあたり、私なりに目標を立てました。

まずはじめは学習です。算数は、十二月の時点で学習内容が全て終わり、復習がメインになっています。たまにスパイス問題を解くことがあるのですが、計算などはできても、説明することがうまくいかないことがあります。自分がわかっていることを、文にまとめて表現する力を、さらに高めていきたいと思っています。また、自主勉の中で漢字の練習をほぼ毎日継続して行ってきましたが、漢字の練習をする意味は何かを考えてみました。それは、自分が表現したいことを読み手に伝わりやすくするためだったり、パソコンで変換した漢字が正しいかどうかを判断できたりするためだと思います。漢字テストで百点を取ることを目的にしてはだめだと感じました。そうやって考えてみると、「何のために学ぶのか」ということを意識して学習していくことが大切だと気づきました。卒業まで、これまでの学習のつながりを意識して、学んだ力をうまく使いながら進んでいきたいと思っています。

次は、委員会活動です。これまでの委員会活動では、計画的に見通しをもって準備を行うように気をつけてきました。前もって準備をすることで、後から困らないようにしてきたつもりです。「ハーモニー学年で本沢小学校の新しい歴史を創る」を合言葉に、できる限りの力で取り組んできました。が、それも間もなく終わりを迎えます。これからは、五年生にバトンタッチを行っていくことが自分の役目だと思っています。どのように仕事を行っていくとよいかなど、私たちが真似をしてより良くなるよう話し合って学んできたことを伝えていきたいと思っています。

最後は、感謝の気持ちををもって過ごすということです。お世話になった先生方や、私たちの取り組みに協力してくれた下級生のみなさん、いつも見守ってくれている家族や地域の方に、「ありがとう」と言うだけでなく、行動で伝えたいと思います。その気持ちをどう表現したらいいかは、六年生みんなで話し合ってこれから考えていきます。卒業までの日々を充実させ、四十七日後に美しく飛び立てるよう、気を抜かず進んでいきます。

☆結彩さんの発表は、「学習」「委員会活動」「感謝」の三つの視点で整理されていて、よく伝わっていました。特に「四十七日後に美しく飛び立つ」という工夫した表現は、強い決意の表れとハーモニー学年らしさを感じました。【校長より】